

平成 25 年第 1 回定例会 防災警察常任委員会

平成 25 年 3 月 18 日

藤井委員

当常任委員会に付託された諸議案について、公明党神奈川県議会議員団として、賛成の立場から意見を発表します。

まず、安全防災局関係について申し上げます。

はじめに、平成 25 年度当初予算案につきましては、非常に厳しい財政状況の中で、地震防災対策として、県全体で対前年比約 76 億円増の約 801 億円を計上したことは、高く評価しております。今後も施策や事業を徹底して精査する一方、地震災害対策など重要課題については、しっかりと財源の確保に努めていただきたいと思います。

次に、大規模災害時の受援体制についてであります。

東日本大震災の被災地に行った際、日頃行ってきたことしか、成果にはつながらない、ふだんからの関係が重要であるとの話を多くの方からお聞きしまして、是非、広域自治体として県がイニシアチブをとって、政令指定都市を含む県内全市町村と緊密な地震防災対策を構築するとともに、日常から連携した訓練を進めていただきたいと思います。東日本大震災の経験からも明らかですが、大規模な災害が発生した場合、被災地では地元自治体、特に市町村だけでは対応能力に限界があります。県内外からの広域な応援活動が大変重要となります。安全防災は、広域行政の観点から極めて重要でありますので、県として広域応援部隊の活動が円滑に展開されるよう、受援体制をしっかりと構築していただくことを要望いたします。

次に、東日本大震災の被災地からの県内避難者への支援についてであります。

東日本大震災から 2 年が経過する中で、本県において自立した生活を送り、相談等の支援が不要になった県内避難者がいる一方で、深刻な課題を抱える県内避難者も少なくありません。それぞれの避難者を取り巻く状況や抱える問題も様々でありますので、専門的な観点からの支援が有効だと考えます。是非、県内避難者の皆さん、それぞれの状況に合わせた支援を継続し、避難者の自立促進と被災地の復興に貢献できるよう努めていただくことを要望いたします。

次に、警察関係について申し上げます。

まず、平成 25 年度警察費当初予算と県単補助金についてであります。

予算編成に当たっては、県財政が厳しい中で、警察の予算担当者が御苦勞、御努力されたのではないかと思います。しかしながら、どんなに県財政が厳しくても、必要なものは必要です。削れないものは、削ってはいけないと考えます。なぜなら、予算面での譲歩は、すなわち県民の不安に直結するからであります。県民ニーズ調査が示すように、県民が県行政へ要望することとして、治安対策が 4 年連続して第 1 位となっています。これは、県民が現状に満足していないことの表れであります。警察の最大の武器はマンパワーと言われますが、それも限界が

あるわけですから、予算面でしっかりとカバーしていただき、県民が真に望む体感治安の向上のために、引き続き必要な予算の確保に努めていただきたいと思います。願わくば、みなとみらい警察署の新設についても、引き続き御検討をお願いしたいと思います。

次に、東日本大震災に伴う被災県警察への特別出向についてであります。

先日の朝日新聞に、神奈川県警察から福島県警察に出向し、活躍されているウルトラ警察隊の記事が掲載されておりました。東日本大震災の発生以来、多くの警察官が被災県へ出向、派遣されていますが、その御苦勞は、察するに余りあると思います。被災された皆さんに心を砕き、寄り添おうと、ひたむきに活動する皆さんの仲間の記事に、心を動かされました。是非、遠い地で頑張っている同僚に思いをはせていただき、神奈川県警察のきずなを大切にしていきたいと思います。知らない土地での激務でありますから、心のケアについても、しっかりと対応をしていただきたいと思います。どうか仲間が孤立することがないように、最大限の配慮と激励をお願いしたいと思います。

次に、若手警察官の育成方策についてです。

私からお願いしたいのは、先輩、後輩、ベテランと若手という中で共有する時間をできるだけ長く持ってもらい、仕事だけでなく、精神や気持ちについてもしっかりと伝承していただきたいということでもあります。いつの時代も、若手は先輩の背中を見て育っていくものであります。あの先輩についていこうと思われるように、後輩に愛情と気概を持っていただいて、これからも良い若手の育成に努めていただきたいと思います。

もう一方では、きずなという話を先ほどいたしましたでしたが、互いにまだまだ一枚岩になり切れていない感じがしてなりません。風通しの良い職場という言葉がありますが、若いも若きも、先輩も後輩も切磋琢磨し、警察の責務や原点を見失わずに、神奈川県警察に奉職して本当に良かったと心から思える組織にしていきたいと思います。世代交代が進む中で大変ですが、治安に間隙が生じないように、これからの神奈川県の治安を担う若手警察官の育成をよろしくお願いいたします。

最後に、運転免許試験場の整備についてであります。

本当に待ち遠しい話だと思いますが、これからの時代を見据えて福祉の視点を持っていただき、高齢者や体の不自由な人にも優しく、分かりやすい施設になるように要望します。待望の施設でありますから、是非スケジュールに遅滞のないように進めていただくことをお願いいたします。

以上で意見発表を終わります。